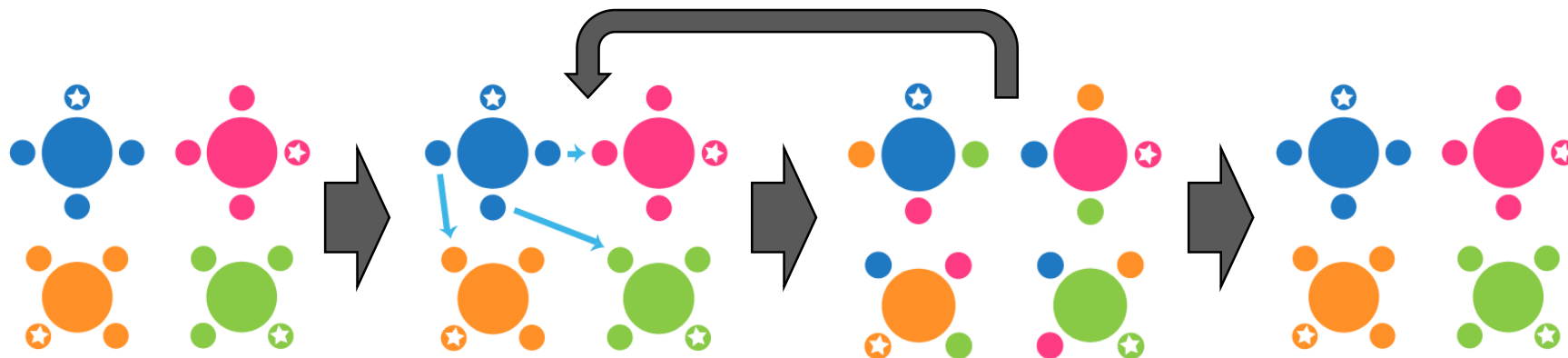


ワールド・カフェ

ワールド・カフェとは、カフェのようなリラックスできる雰囲気の中で、メンバーの組合せを変えながら、4～6人の小人数で話し合いを続けることにより、深い相互理解や新しい知識を生み出す話し合いの手法。



①テーマ（問い）について話し合う

各テーブルに4～6人ずつ座って、提示されたテーマ（問い）について話し合う。
テーブルの上には模造紙が敷かれ、ペンが置いてあり、自由にいたずら書きをしながら会話を進める。

②アイデアを「他花受粉」する

各テーブルで残る人を一人決めて、残りのメンバーは「旅人」となり、他のテーブルにばらけて移動する。
残った人（★）は、旅人を出迎えて、そのグループで話し合われていた内容をお互いに共有する。
その後は、アイデアとアイデアのつながりに注意を向けながらテーマについての話し合いを継続させる。
※何度か繰り返す

③気づきや発見を統合する

最後に、別のテーブルに行っていた旅人が最初のテーブルに戻り、旅先で得たアイデアなどを統合して、どのような関係性や傾向、意味が流れているかに耳を澄ませながら話し合う。
最後に、参加者全員でそれまでのラウンドで得られた気づきや発見などを共有する。

【ワールドカフェの特徴（メリット）】

- ・身近なテーマだからこそ、誰もが話せる
- ・グループが少人数（4人程度）だからこそ、本音が話し合える
- ・カフェのような雰囲気だからこそ、難しく感じない。
- ・席替えによって、多様な視点が得られる。
- ・対話の中で、様々な気づきや学びが得られる。



オープンハウス

多くの市民の方などが集まるイベントや外部施設において、説明パネルを展示し、事業概要を説明しながら意見を聴取する方法



《オープンハウス（イメージ）》

【オープンハウスの特徴（メリット）】

- ・ 普段市政に参加する機会がなかった方をはじめ、幅広い市民から意見を聴くことができる